



校長室だより

令和8年度

4月24日

NO. 3

「わかる・できる・楽しい・輝く」ように！授業、頑張ります

「何よりも大切なのは、子どもたち自身が『できた!』という達成感を味わうこと。その経験の積み重ねが、困難に直面したときでも乗り越える粘り強さを育んでいます」

『子どもの人生が変わる放課後時間の使い方』

（講談社α新書 島根太郎著）



今年度最初の授業参観が行われました。緊張しながらも、真剣に授業に取り組みました。

春の空の下、ツバメが所せましと秦梨小の運動場や校舎の間を飛び回るようになりました。渡り廊下に昨年から残っている巣を、ツバメたちは自分たちの住家に見定め修復しています。秦梨小で一年をスタートした子供たちと同じようにツバメの一年も始まりました。ツバメたちと共に、子供たちも成長していくことを楽しみにしています。

四月最初の授業参観に、子供たちの真剣な顔が見られました。子供にとつて緊張する授業参観ですが、先生たちも最初の授業参観は緊張します。変わられた小菅先生は、授業参観の保護者の方の多さに驚いたと言ってみえました。私事ですが、四月の授業参観が一番、不安と期待が大きかったのを覚えています。まだ始まったばかりで、授業の雰囲気もまだ出来上がっていません。しかも初めて保護者の方に見られて、どんな風に見てもらえるかと心配な反面、子供たちの元気で活発で、楽しそうに授業に向かう姿を見たいというワクワクした気持ちもありました。けれど、どの子も真剣に授業を受けようとする思いは一緒です。授業を通して、「わかった、できた、楽しい、輝いた」と言えるようになることを目指していきたいと思えます。

授業でずっと言われているのは「主体的・対話的で深い学び」です。本年度のスローガンを「わかる・できる・楽しい・輝く秦梨っ子」としましたが、それにはまず、主体的で自分事であることが大切になります。これはいろいろな場面においても同じでしょう。もちろん、一人一人その姿は異なりますが、それぞれが自分から分かり、できて楽しくなるようにするために、見守り、支え、導くのが大人の役割と考えます。

- ・令和8年度前期学年代表及び各委員長は、4年代表 長谷川恭臣君、5年代表 市橋冬羽さん、6年 酒井奏菜さん、体育委員長 6年 柴田悠輝君、健康委員長 6年 畔柳咲希さん、学習環境委員長 6年 畔柳咲良さんです。学校の中心となって活動してもらいます。
- ・18日の授業参観及びPTA総会にご参観・ご参加いただきありがとうございました。また、学区歓送迎会にお越しいただいた皆様も、楽しいひと時をありがとうございました。